

TGM

縦型CNC加工機

多様な加工に1台で対応

TGM(東京都千代田区、弘中崇社長、03・6261・1260)

は、イタリア・スキルグラス社の縦型CNC加工機「SKILL E-D」、縦型六角開け・ミールリング加工機「SKILL DRILL」、縦型エッジング・糸面取り機「SKILL SFILL」などを販売している。スキルグラス社は縦型加工機専門メーカー。縦型加工機は平型と比べてスペースを取らないというメリットがあり、工場スペースに限りがあることが多い日本に適する。「SKILL E-D」は特殊ガラス保持搬送システムの採用で加工のタイムロスを削減し、最小加工寸法でのミールリング、穴開け加工を可能にした。優れたこの機能によって、海外では販売実績が増えているという。同社は客の省人化、省力化ニーズに合わせて、さまざまなガラス加工設備、資材を提案する。

限られた工場スペースに

縦型CNC加工機「SKILL E-D」は、優れており、仕様書に明示されている。

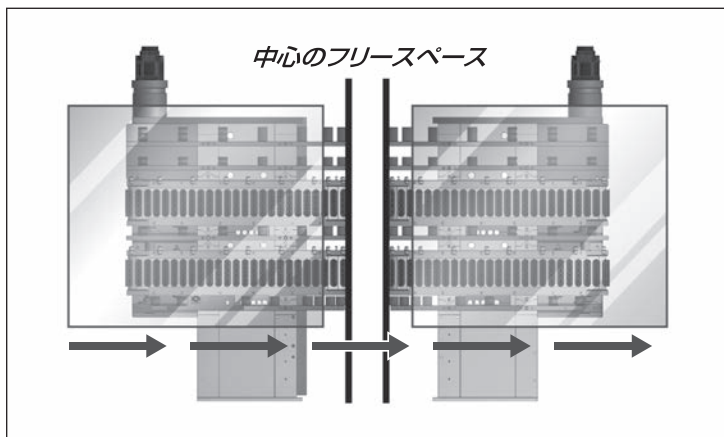
一般的にはサクシオン特殊ガラス保持搬送システムの採用で、加工が終わったガラスを下ろす間の待ち時間が発生しない。連続してガラスの投入が可能になり、高い生産性を保持するまで待つ必要があり、生産のタイムロスを下ろし、再度板載せエリアで新しいガラスを保持するまで待つ必要があり、生産のタイムロスが高く、加工精度に

を実現する。



イタリア・スキルグラス社の縦型CNC加工機「SKILL E-D」

通常の加工設備の最小加工寸法は外周研磨だけで、穴開け、ミールリング加工をすることが難しかった。特殊ガラス保持搬送システムの間にスペースができるので、最小加工寸法でのミールリング、穴開け加工を可能にし



特殊ガラス保持搬送システムの採用で、加工のタイムロスを削減して生産性が向上

た。最小加工寸法は600×300mm、最大加工寸法は3000×2000mm、4500×2600mm、6000×3210mmの3タイプがある。スキルグラス社は1999年創業。前身の会社は1980年代に平型加工設備をガラス・木材加工メーカーに提供していた。2001年からガラス業界だけに絞る、縦型加工設備を開発。競合メーカーが平型、縦型の両方の加工設備を製造・販売する中、同社は縦型に特化。縦型加工設備の良しあしを知り尽くしているのが強みで、改善、改良を継続している。特に縦型CNC加工機では性能面で他社を圧倒。年間30台前後を販売している。